

授業科目	老年看護学演習	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次前期	1	講義・演習	30時間
到達目標	1. 高齢者の看護に必要な看護技術について理解する。					講師
	2. 高齢者特有の障害に伴う心理状態と看護の方法を理解する。					専任教員
3. 認知症高齢者に対する看護過程の特徴を理解し、展開する能力を養う。						
授業計画						
1回	看護過程① 老年看護学における看護過程の特徴、認知症高齢者に対する看護過程の特徴 ① 事前学習・課題（レポート①-a：認知症DVD鑑賞） ②グループ編成					
2回	看護過程② 認知症高齢者に対するアセスメントの視点 一般情報・薬剤・検査データ・ゴードン11の機能的健康パターン クラスタ①～③					
3回	看護過程③ 認知症高齢者に対するアセスメントの視点 ゴードン11の機能的健康パターン クラスタ④～⑦					
4回	看護過程④ 認知症高齢者に対するアセスメントの視点 ゴードン11の機能的健康パターン クラスタ⑧～⑪					
5～6回	排泄の援助：オムツ交換（レポート①-b：紙おむつでの排泄体験）					
7～8回	高齢者に対する指導計画 1)パンフレット作成（レポート②） (1)点眼 (2)嚥下障害のある高齢者への援助 ①とろみ水の作成 ②アイスマッサージ					
9回	看護過程⑤ 認知症高齢者に対するアセスメントの視点 ゴードン11の機能的健康パターン 分析グループ発表（クラスター毎）					
10回	看護過程⑥ 日常生活に及ぼす影響や事故発生リスクを考慮した問題点の明確化・関連図					
11回	高齢者のレクリエーション 1) 高齢者のレクリエーションの企画					
12回	看護過程⑦ 認知機能の低下や加齢変化を考慮した看護計画の立案					
13回	看護過程⑧ 評価					
14回	死後のケア					
15回	高齢者のレクリエーション 1) 高齢者のレクリエーションの企画・運営（レポート提出①-c：高齢者レク企画・運営）					
評価方法	選択肢問題又は論述問題による筆記試験（40%）、看護過程の展開（40%）、レポート①-abcの総合（10%）、レポート②（10%）を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護学技術 医学書院					
備考	各演習で行う部分の教科書・参考書を熟読して臨み、演習後は内容を振り返り復習しておくこと。看護過程の演習では、事例患者の疾患、病態把握、提示された課題学習を、既習した科目での学習も活用し自主的に取り組むこと。					